

Think Big!



2023.11.04

No. 012

新宿支部の
公式 Twitter も
チェック!



年末手当

3.4カ月 + 10万

勝ち取ろう!!!

中野営業統括センター 2023年末手当 要求の声!! (No.2)

【阿佐ヶ谷駅】

- 物価高が叫ばれるなか、**社員の生活の物価も上げるべきだ!**
- コロナ禍で業務量が減ったことにより、人件費などのコストカット、マンパワーカットは良いが、業務量が戻ってきた。**このままでは疲弊していく一方だ。せめて手当という成果を出すべきだ。**
- 物価上昇で実質的な賃金カットでは日々の生活の辛さが実現できません。**年末手当で会社は、もっと社員一人一人の生活を考える時がきていると思います。**

【荻窪駅】

- 社員が懸命に働いて増収に努めてきた。**会社は応えるべきだ!**
- 営業施策で現場は苦勞している。**社員の意見に耳を傾け、納得のいく回答を求めろ。**
- 一人当たりの業務量が2倍にも3倍にも感じる。**懸命に働いている社員への還元は当然だ!**

【西荻窪駅】

- お客さまの流れがコロナ前に戻りつつあり、**組合員一人一人の業務負担も大きくなっている。努力に報いるべきだ!**
- 物価上昇、コロナでの賃金低下といったピンチに社員へのフォローで他社と差が出ている現実を、若手社員は見ています。そして考えています。**会社の姿勢と自分たちの将来設計と生活を。経営陣のみなさん。姿勢を見ていますからね。**

2023.11.02 NO. 079

2023年度年末手当に関する申し入れ

11月1日第1回団体交渉開催

会社は満額回答で直近の業績に基づく正当な還元を行うべきだ!

中央本部は、11月1日に年末手当に関する申し入れ第1回交渉に臨みました。今回の団体交渉では、これまでの趣旨説明、その後の会社からの現状認識というやり取りに付まることなく、会社施策を押し、現場で奮闘してきた組合員の声を基に会社と議論を行いました。

コロナ前の9割近くまで利用が回復していると現場では言われている。現場の意向があるからであり、私たちの要求に対して、「妥当だ」との声が多く上がっている。

「融合と連携」によって企画業務を行なうことに重点が置かれた結果「お客さまの応対に出られない」のが実態だ。出札窓口が削減された結果、と列が常態化しお客さまに様々な苦勞を行うなど「人だからこそできるサービスの拡充」に至っていない。

掲げた要求について組合員は「大幅な増額」とは思っていない。「感謝」と言うなら見合った数字を出すべきだ! 満額回答以外認められない!

業績の回復に現場では手こたえを感じている一方で、いつになれば還元されるのか! 物価上昇によって、生活は苦しくなる一方だ。雇員も増えている、現場に笑顔がない!

安全安定輸送など日々の業務の遂行に感謝申し上げる。要求については受け止め、今後の段階で「大幅である」などの考えはない。第2回団体交渉の開催は社員の努力があるからこそである。年末手当の支給水準については貴方の覚悟でも願っています。

趣旨説明を述べた上で
組合員の声を会社にぶつけて議論を!

第2四半期決算で黒字を達成したのは組合員の努力に他ならない!

連絡先の内容はHPまたは右記QRコードより